



令和5・6・7・8年度 福岡県立農業高校スクールアクションプラン「嘉穂総合高等学校 版」

第4次アクションプラン 全国の農業高校の新戦略 グローバル・アグリハイスクール宣言Part II			自校のスクールアクションプラン						
農業高校の ミッション (目指す学校像)	行動計画 (目指す学校像の具現化に向 けて)	キーワード (該当ワードを○で 囲む)	学科名	本年度重点取組	具体的方策(5W1H明記、数値目標奨励(年度末ABCDE評価の根拠))	SDGs 目標 NO.	評価 (ABC DE)	次年度の主な課題	
農業高校 グローバル アグリハイスク ール宣言  ○○○○○ 地地地地グ 域域域域口 防交環社 災流境会力 をのを・ル 推拠守産教 進点り業育 すと創に るな造寄人 学するす材 校学する育 校学する育 校学する育	1	生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育	農業食品 科	3年間を見通したキャリア教育の充実	生徒の進路実現に向けて、キャリア・パスポートの活用や進路説明会の実施、応募前職場見学の実施により適性の明確化を図る。	4、8			
			農業食品 科	教育相談の充実	学習環境の整備をするためにSC、SSW、訪問相談員による教育相談を行う。	4、10			
	2	世界と日本をつなぐグローバル教育	グローバル教育、国際交流						
	3	地域農業の生産を支える教育	生物生産、特産物、GAP、経営	農業食品 科	地域に貢献する学科作り	夏季休業中に取得した農業用ドローンの免許を活用し、地域のJAと連携し、地域の圃場での農業用ドローンを用いた農業散布を行う。	4、8、9		
				農業食品 科	GAP教育の推進	GAP教育を行い、福岡県GAP認証の取得を行う。	12		
	4	地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育	地域貢献、6次産業化、食農教育、経営、HACCP	農業食品 科	6次化産業商品の開発	地域や校内で栽培したタマネギの規格外品を有効活用した、タマネギドレッシングの製造・販売を行う。	12、15		
	5	地域環境を守り、創造する教育	環境創造、国土保 主、 循環型農業、循環型 社会	農業食品 科	地域景観づくりへの取り組み	年間2回、地域にプランター設置や花植え活動を行い、地域交流を行う。また、社会福祉協議会と連携し、町内の景観作りを行う。	3、11、15		
	6	地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育	地域資源活用、特産物、地域交流、食農教育	農業食品 科	地域社会の発展と活性化に貢献できる教育活動	科目「グリーンライフ」において、年間4回、地域の販売施設で農産物販売を行う。	8、12		
				農業食品 科	地域交流	地域の保育園及び小・中学生等の農業体験や食品製造体験を積極的に行い、地域に根ざした農業教育の充実を図る。	4		
	7	Society5.0の時代に 応じた教育	スマート農業、ICTを用いた学習	農業食品 科	農業用ドローンの資格取得	校内で農業用ドローンの資格を取得できるよう、産業用マルチローター教習施設の認定を受け、ドローンスクールを開講し、生徒がオペレーターライセンスを取得できるようにする。	4、9		
	8	地域防災を推進する教育	地域防災、多面的機能	農業食品 科	ワンヘルス教育の推進	ワンヘルス教育の推進を行い、啓発活動に取り組むことで人と動物及び環境の健全な在り方を考え自主的に判断して行動する力を高める。	3、4、11、14、15		

※本プランは全国農業高等学校長協会「第4次アクションプラン」の規定により、各学校ホームページにて公表、年度末に福岡県教育委員会に報告します。また、福岡県農業教育研究大会誌にも毎年掲載(情報共有)します。